

令和3年度 港区関連予算（案）概要

別紙1-1

【1 区長（区CM）が関与する予算額】

（単位：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（案）
港区役所予算	850,874	877,163	959,095	961,388	1,157,545	1,463,316
うち区長自由経費	259,590	294,827	343,206	352,487	549,859	871,574
うち区CM自由経費	591,284	582,336	615,889	608,901	607,686	591,742

※ 人件費除く

区長自由経費は、区庁舎設備維持費や防災対策事業など、区へ財源配分され区が実施する事業の経費です。
区CM（シティ・マネージャー）自由経費は、スポーツ施設指定管理運営費や公園管理運営費など、区で調整を行いますが、局へ財源配分され局が実施する事業の経費です。

それぞれの事業別予算については、別紙をご参照ください。

【2 重点的に取り組む事業】

○（仮称）区画整理記念・交流会館整備事業 〈令和3年度予算額：450,882千円、令和2年度予算額：213,685千円〉

【概要】 弁天町駅前土地区画整理記念事業の記念施設として、広く区民に役立ち、今後のまちづくりに貢献する公共施設「（仮称）区画整理記念・交流会館」の整備に伴う建設工事を行う。

【工夫点】 区民意見を踏まえ策定した基本構想を基に、区民センター、老人福祉センター、子ども・子育てプラザを一体的に再構築し、図書館を移転・拡張することにより、幅広い世代の活動・交流を促進する。

○港区エリア別活性化プラン等の推進 〈令和3年度予算額：6,013千円、令和2年度予算額：17,131千円〉

【概要】 令和2年度策定予定の「港区エリア別活性化プラン」に基づき、港区の各エリアの特性に応じた中長期的なまちづくりを推進していく。

【工夫点】 港区の資源である海や港を活かした公民連携によるまちづくりをより一層推進するとともに、港区内の各エリア特性に応じたまちづくりプラットフォームとの連携によるにぎわい創出の社会実験イベントを推進し、港区全域の活性化につながる取組を進める。

○産業振興・次世代人材育成支援事業 〈令和3年度予算額：1,648千円、令和2年度予算額：3,286千円〉

【概要】 企業と商工団体、行政等の連携の強化によるビジネス機会の創出の支援、企業間の連携協働による次世代を担う人材育成の支援を通じて産業振興を図り、まちの活性化を図る。

【工夫点】 ベンチャー企業のアイデアと区内町工場の技術をマッチングさせた新たな事業の創出の支援や、小学生のアイデアを企業がプロダクト開発するキャリア教育プログラムを実施する。

○不登校児童生徒アウトリーチ型支援事業 〈令和3年度予算額：3,592千円、令和2年度予算額：3,267千円〉

【概要】 不登校対策のモデル事業として中学校とその接続小学校の不登校や不登校傾向のある児童生徒に対し、校内支援（授業時間中・放課後の学習支援・別室登校支援等）及びアウトリーチ型支援（登校支援・訪問支援・サードプレイスへの誘導等）を行う。

【工夫点】 中学生になって急増する不登校生徒を減らすため、小学校の早期から継続したアウトリーチ型の支援を含めたサポートを実施する。各中学校の不登校の状況に照らし、支援の対象校を拡充する。

○児童虐待未然防止・早期発見強化事業 〈令和3年度予算額：4,899千円、令和2年度予算額：4,733千円〉

【概要】 保育施設への虐待リスクの判断や対応についての指導や助言、課題を抱える妊婦や母親等への妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援により、児童虐待の未然防止・早期発見を図る取組を強化する。

【工夫点】 保育施設への巡回により区役所との連携を強化するとともに、課題を抱える母親等を対象に、心理士や保健師など専門職の連携による育児教室を開催し、適切な支援につなげる。